



2008年(平成20年)10月期

# 中間決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長 おこし いわお 御輿 岩男

(ジャスダック証券取引所、証券コード:7827)

2008年6月20日

## ●目次

<b>PART1 会社の概要</b>	<b>3</b>
●プロフィール	4
●経営理念・沿革	5
<b>PART2 事業の特長(強み)</b>	<b>6</b>
●木材事業のビジネスフロー	7
●木材事業の特長	8
<b>PART3 2008年10月期の中間連結業績</b>	<b>11</b>
1. 中間連結損益計算書	12
2. 売上高・中間純利益の増減要因	13
3. 事業のセグメント別業績	
●木材事業	14
●ハウス事業	15
●アミューズメント事業	16
●不動産事業	17
4. 中間連結貸借対照表及び中間連結 キャッシュ・フロー計算書	18

<b>PART4 市場環境と取組みの進捗状況</b>	<b>19</b>
●木材事業の市場環境 ①	20
●木材事業の市場環境 ②	21
●木材事業:取組みの進捗状況	22
●ハウス事業の市場環境	23
●ハウス事業:取組みの進捗状況	24
●アミューズメント事業の市場環境	25
●アミューズメント事業:取組みの進捗状況	26
<b>PART5 2008年10月期の業績予想</b>	<b>27</b>
1. 連結業績予想(通期)	28
2. 予想配当	29
● 本資料お取り扱い上のご注意	30
● IR担当窓口	31

PART1

# 会社の概要



ニュージーランドの松林(写真提供:住友林業株式会社)

## ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス、アミューズメント及び不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松(ラジアータパイン)製材の国内最大手の評価を頂いております。

会社名	株式会社オービス
設立	昭和34年11月
代表取締役社長	御輿 岩男(おこし いわお)
資本金	6億8,498万円
従業員数	257人(平成20年4月末現在)
中間連結売上高	52億円(平成20年10月期中間)
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築の請負、カラオケハウス及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0105 広島県福山市南松永町四丁目1番48号
連結子会社	株式会社パル TUI MARITIME S.A. (パナマ)

### ●社名の由来●



当社社名の「オービス(ORVIS)」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と、「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

## 経営理念

# 顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様利益を還元していく」という意味をあらわしております。

## 当社グループの主要な沿革

昭和34年11月	有限会社中浜材木店を設立	平成元年10月	広島市安佐北区にカラオケハウス1号店を開店
昭和37年 5月	広島県世羅郡世羅西町(現世羅町)に製材工場を建設	平成 4年 4月	株式会社オービスに商号変更
昭和43年 3月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	平成14年 8月	木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)完成、航海開始
昭和46年 6月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	平成14年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始
昭和49年 9月	有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜材木株式会社を設立	平成15年 5月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、賃貸開始
昭和62年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始	平成17年9月	ハウス事業広島工場にてISO9001:2000認証取得
平成元年 4月	カラオケハウスの製造販売開始	平成18年9月	ジャスダック証券取引所に上場

PART2

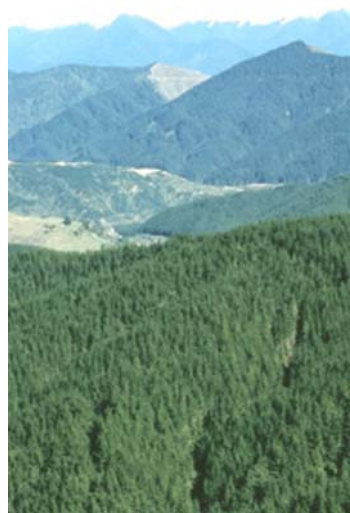
# 事業の特長(強み)



● 木材事業のビジネスフロー

仕入・船積

ニュージーランド産ラジアータパインの原木を現地輸出業者から直接仕入



特徴①

海上輸送

専用運搬船「グリーンホープ」で日本まで安定・低コスト輸送



港からの搬入

原木を港湾地域にある当社本社工場、東海工場の2ヶ所へ搬入



特徴②

大量製材

独自の大型機械化製造ラインで大量・低コスト製材



出荷

製品を顧客及びユーザーへ直送



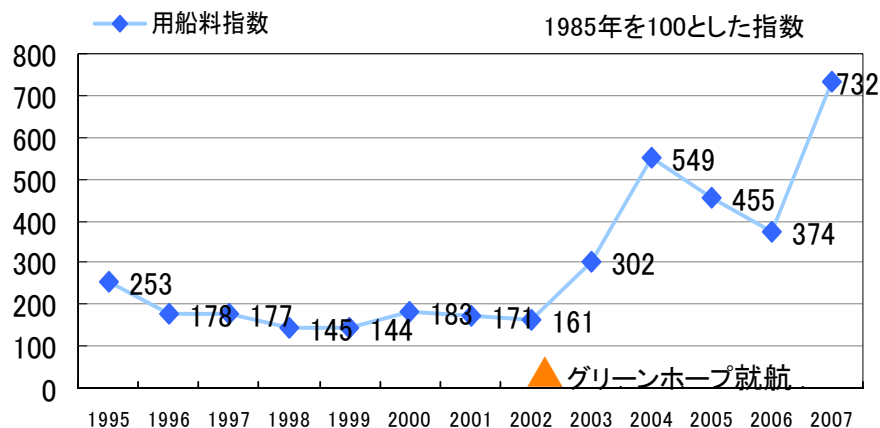
● 木材事業の特長① 専用木材運搬船「グリーンホープ」

■ 安定した輸送コストを実現

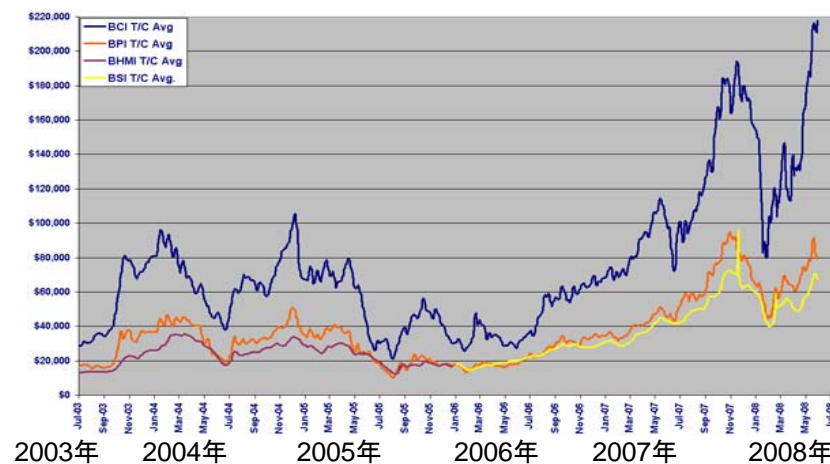


- 専用木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)を保有
- 日本とニュージーランドの間を年間8往復し、原木を海上輸送
- 安定的な輸送手段と輸送コストを確保＝国際用船料相場の高騰に影響されない

■ ロイズ SHIPPINGエコノミストによる  
不定期船定期用船料指数 (2万トン以上3万5千トン未満クラス)



■ バルチック海運指数 (ロンドン海運取引所算出)





● 木材事業の特長② 独自の「画像処理システム」

■ 高い歩留り率をもたらすコンピュータ解析



- 独自の「画像処理システム」を各工場に設置
- 木材断面をコンピュータで解析、最適な木材の切り出し図を自動判定
- 高い製材精度と歩留り率を実現

当社独自の「画像処理システム」

## ●木材事業の特長③ 製品の特徴

### ■ラジアータ松の強み

- 植林木のため資源量が豊富で安価⇒恒久的に安定供給できる
- 柔軟性に富み加工性に優れる ⇒梱包用材に最適
- 原木の直径が大きく、幅広い製品が取れる
- 計画植林のため環境負荷をかけない

### ■価格競争力

- 直接仕入、自社船による安定的低コスト輸送、大量製材、直接販売等により、ローコストオペレーションが確立されており、価格競争力がある

### ■国内挽製材による多品種、大量、速納性

- 国内の2ヶ所の工場で製材をしているため、多様な顧客ニーズに合わせたきめ細かい製材明細を大量に対応することが可能
- 海外で製材する輸入製材品は、通常3ヶ月前から注文を確定しなければならない。当社は1週間程度で納品できるため速納性にすぐれている

●当社ブランドイメージ「安く、早く、大量に安定供給できる」

PART3

# 2008年10月期の中間連結業績

# 1. 中間連結損益計算書

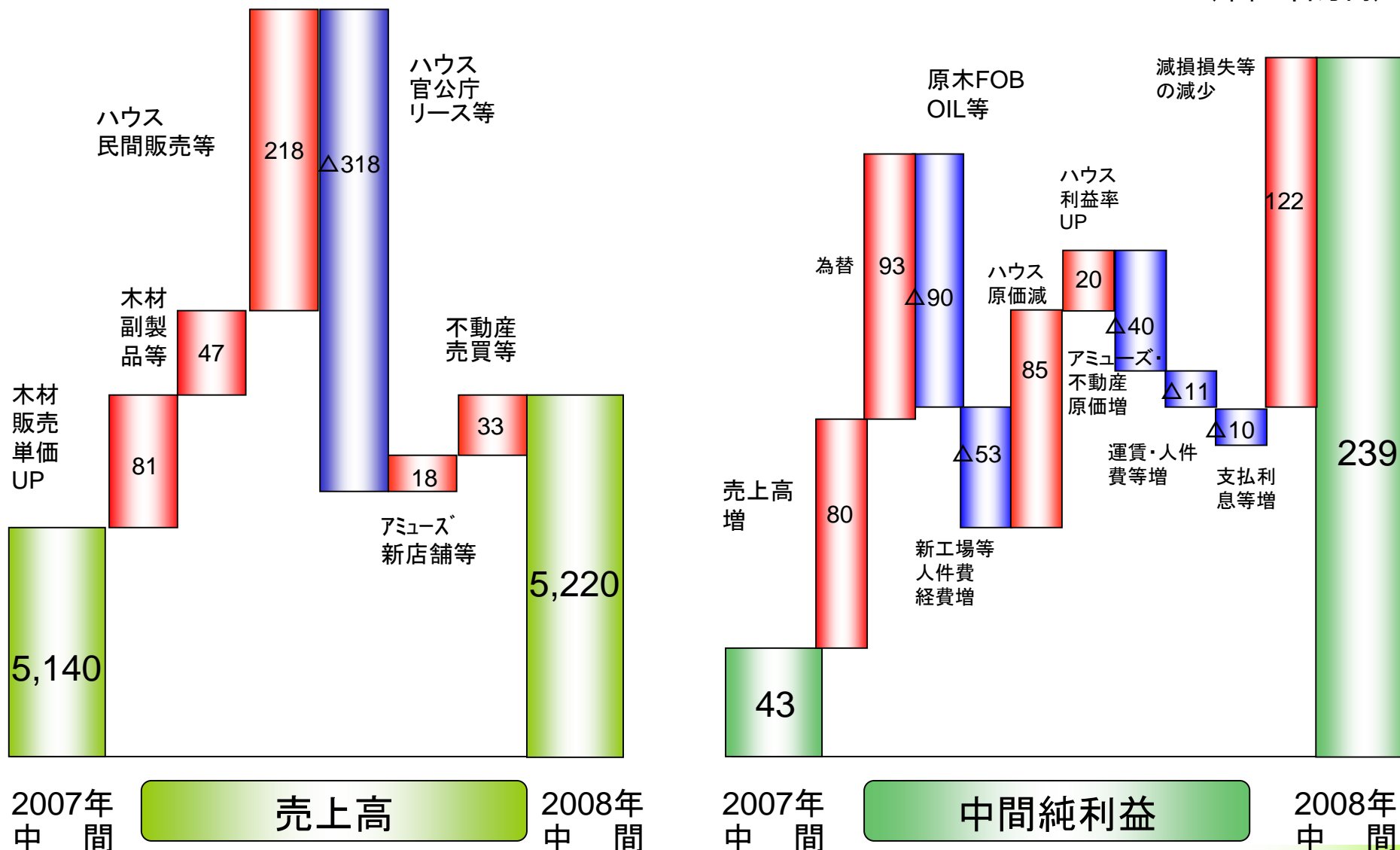
(単位:百万円)

	2007年 中間実績	百分比	2008年 中間業績予想	2008年 中間実績	百分比	前年 同期比	中間業績 予想比
売上高	5,140	100.0%	5,508	5,220	100.0%	101.5%	94.8%
売上総利益	984	19.2%	1,026	1,078	20.7%	109.5%	105.1%
販売費及び 一般管理費	616	12.0%	659	627	12.1%	101.7%	95.1%
営業利益	368	7.2%	366	451	8.6%	122.5%	123.0%
経常利益	330	6.4%	305	403	7.7%	122.1%	131.8%
中間純利益	43	0.8%	180	239	4.6%	556.9%	133.0%
1株当たり 中間純利益	24.88円	—	104.13円	138.54円	—	—	—

- ハウス事業の工期のずれ込み等により、売上高は中間業績予想には届かなかったものの前年同期比は、売上高**101.5%**、経常利益**122.1%**、中間純利益**556.9%**と増収増益

## 2. 売上高・中間純利益の増減要因

(単位:百万円)

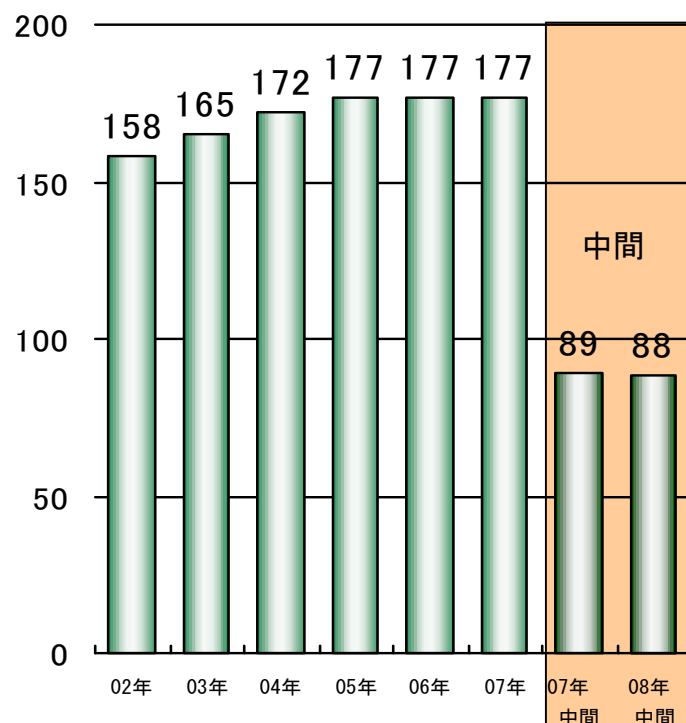


### 3. 事業のセグメント別業績 ● 木材事業

- 出荷量はほぼ横ばいだが、製品及び木材チップ等副製品の販売単価のアップ等により売上高は増加。
- 平均為替レート 前年同期比約7円の円高ドル安は原材料コストには好影響となるも、原油高で船舶燃料費は高騰、原木価格・人件費等も上昇し、更に新工場の経費増等で営業費用は増加。

#### ■ 当社出荷量の推移

(単位:千m<sup>3</sup>)



#### ■ 木材事業の業績

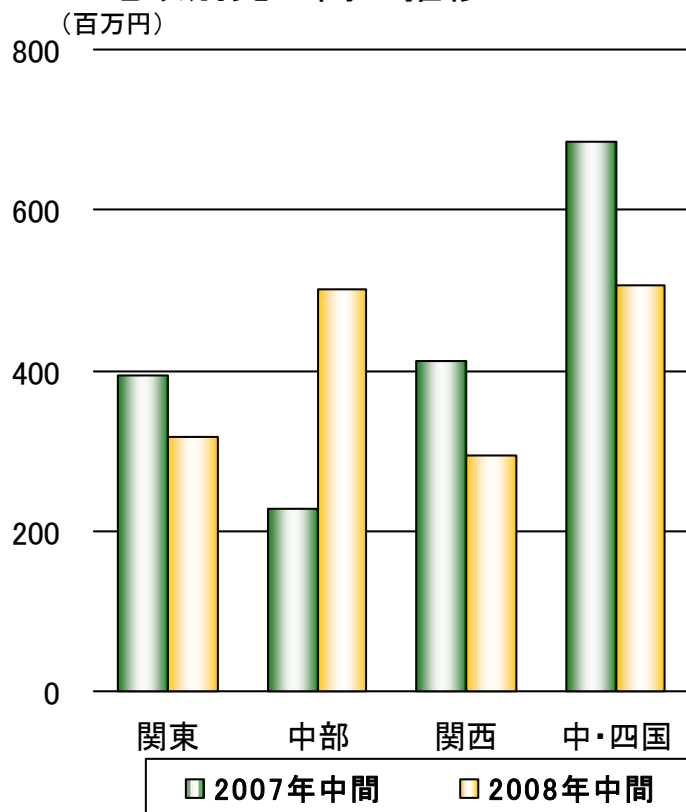
(単位:百万円)

	2007年 中間	百分比	2008年 中間	百分比	前年 同期比
売上高	2,909	100.0%	3,038	100.0%	104.4%
営業費用	2,511	86.3%	2,574	84.7%	102.5%
営業利益	398	13.7%	463	15.3%	116.3%
平均為替 レート(円)	118.56	—	111.97	—	94.4%

## ● ハウス事業

- 改正建築基準法の影響による受注環境の悪化や完工の遅れ等により、売上高は減少。
- 受注の選別により、公共事業の賃貸物件等、利益率の低い物件を減少させたため、利益率が向上。

■ 地域別売上高の推移



■ ハウス事業の業績

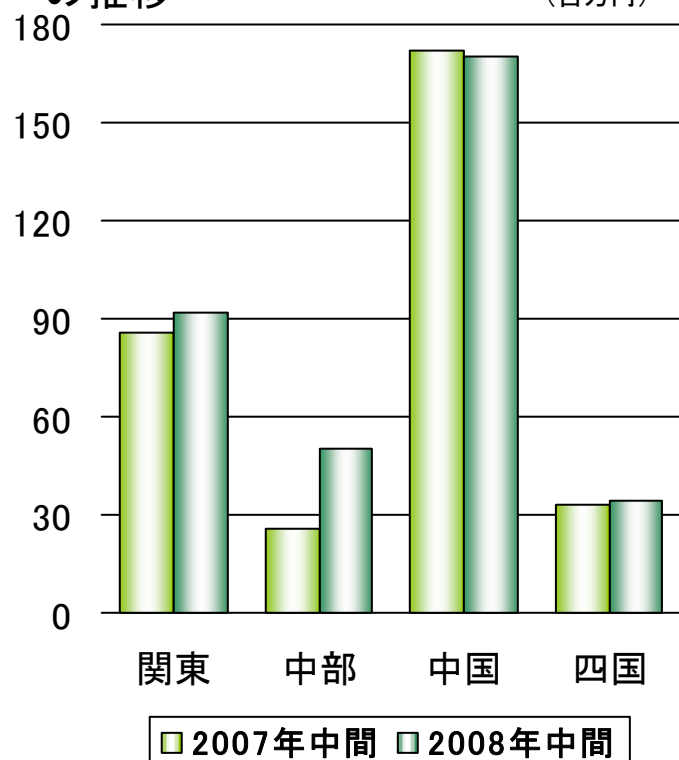
(単位:百万円)

	2007年 中間	百分比	2008年 中間	百分比	前年 同期比
売上高	1,719	100.0%	1,618	100.0%	94.1%
営業費用	1,645	95.7%	1,541	95.2%	93.6%
営業利益	73	4.3%	77	4.8%	104.9%

## ● アミューズメント事業

- 新店舗・改装店舗の影響により売上高は増加。
- 人件費等経費の削減により営業費用は減少し、黒字化。

■ カラオケ店舗の地域別売上高の推移 (百万円)



■ アミューズメント事業の業績 (単位:百万円)

(単位:百万円)

	2007年 中間	百分比	2008年 中間	百分比	前年 同期比
売上高	489	100.0%	508	100.0%	103.7%
営業費用	497	101.6%	488	96.1%	98.1%
営業利益	△7	—	20	3.9%	—



## ● 不動産事業

- 前期に取得した2棟の賃貸物件の賃料収入の増加及び 売買取引(2件成約)により売上高は増加。
- 賃貸物件の改装のため、営業費用が増加。

### ■ 不動産事業の業績

(単位:百万円)

	2007年 中間	百分比	2008年 中間	百分比	前 年 同期比
売上高	22	100.0%	56	100.0%	247.7%
営業費用	9	43.2%	47	85.6%	490.4%
営業利益	12	56.8%	8	14.4%	62.9%

## 4. 中間連結貸借対照表及び中間連結キャッシュ・フロー計算書

### ■ 要約中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

(百万円)	07年中間	構成比	08年中間	構成比	増減	主な要因
流動資産	5,777	49.5%	5,154	40.1%	△623	たな卸資産、リース未収入金の減少
固定資産	5,884	50.5%	7,687	59.9%	1,802	木材事業の姫路新工場等の設備投資等
資産合計	11,662	100.0%	12,841	100.0%	1,178	
流動負債	4,688	40.2%	3,775	29.4%	△913	支払手形及び買掛金、短期借入金の減少
固定負債	3,590	30.8%	5,412	42.2%	1,822	木材事業の姫路新工場等の設備投資による長期借入金の増加
負債合計	8,278	71.0%	9,187	71.6%	909	
純資産	3,383	29.0%	3,653	28.4%	269	利益剰余金の増加
負債及び純資産合計	11,662	100.0%	12,841	100.0%	1,178	

### ■ 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	07年中間	08年中間
営業活動によるキャッシュ・フロー	300	391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572	△1,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	255	948
現金及び現金同等物の期末残高	663	624

自己資本比率  
 29.0% 28.4%  
 有利子負債比率  
 44.7% 50.7%

PART4

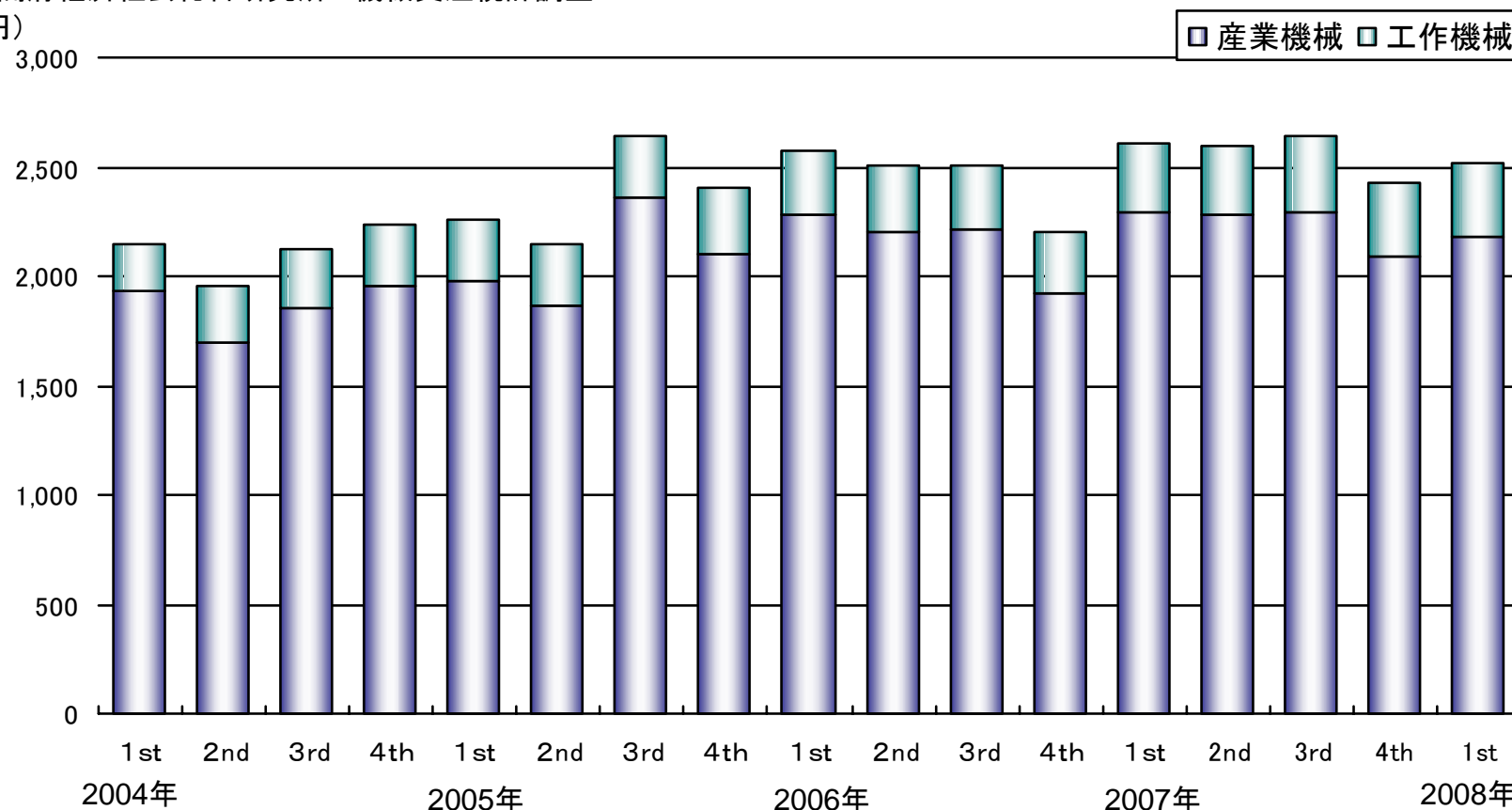
# 市場環境と取組みの進捗状況

● 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

■ 産業機械及び工作機械の受注状況

内閣府経済社会総合研究所 機械受注統計調査

(十億円)

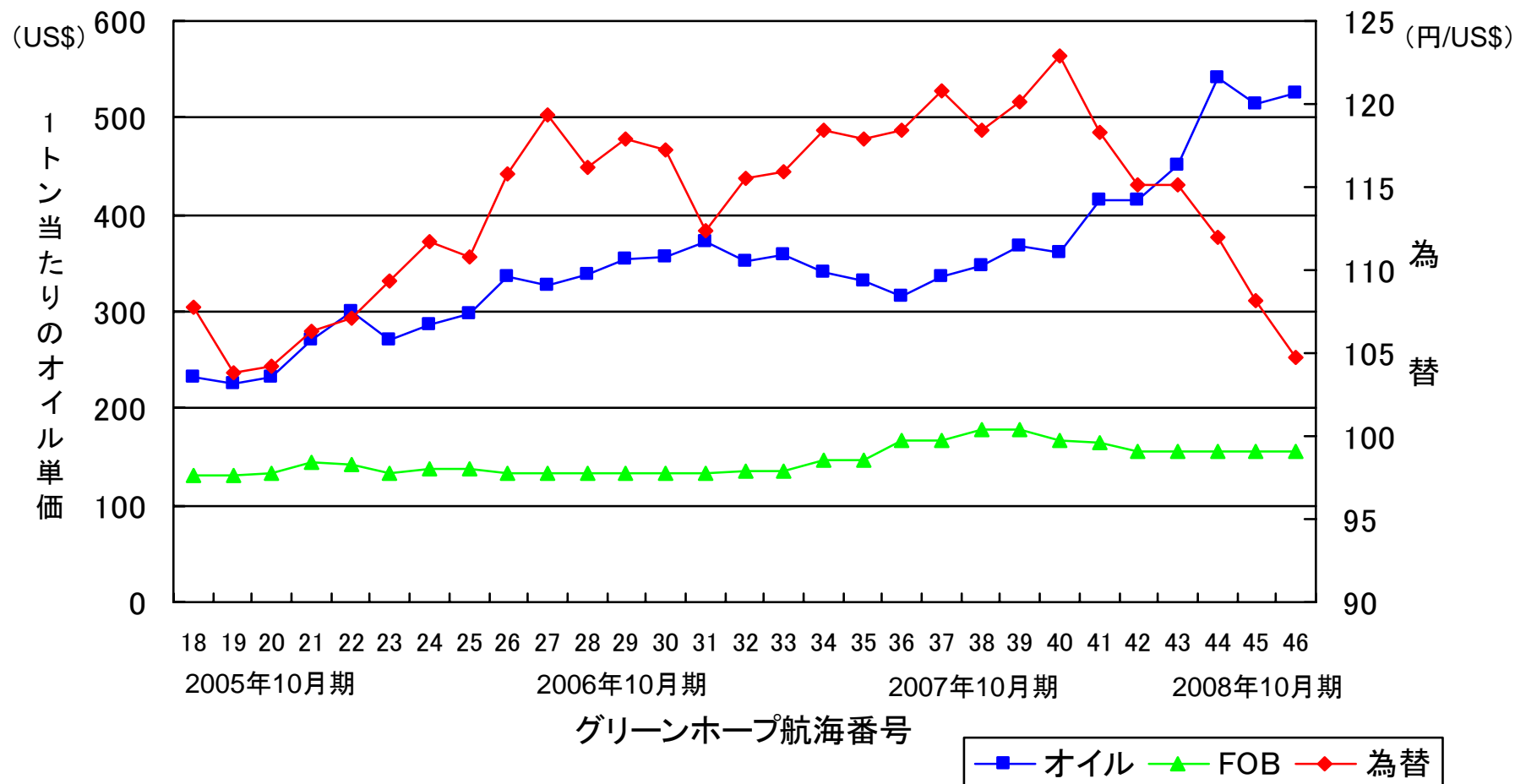


● 産業機械・工作機械の2008年度見通しは堅調。機械受注は1年後、プラントは2年後に梱包用材の受注につながる。

● 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替・原油・FOBの推移

■ オイルは自社船の各航海毎の1トン当たりの単価をUS\$で表示しております。(左軸)  
 ■ 為替は、各航海の平均為替レートを表示しております。(右軸)  
 ■ FOBは、推移の動向を表示しており、実際の金額は公表しておりません。



● 原木FOB価格は若干上昇、オイルは急騰、為替は急激に円高に。

※FOBとは、原木を船に積み込んで引き渡すまでの価格のことをいいます。

## ●木材事業:取組みの進捗状況

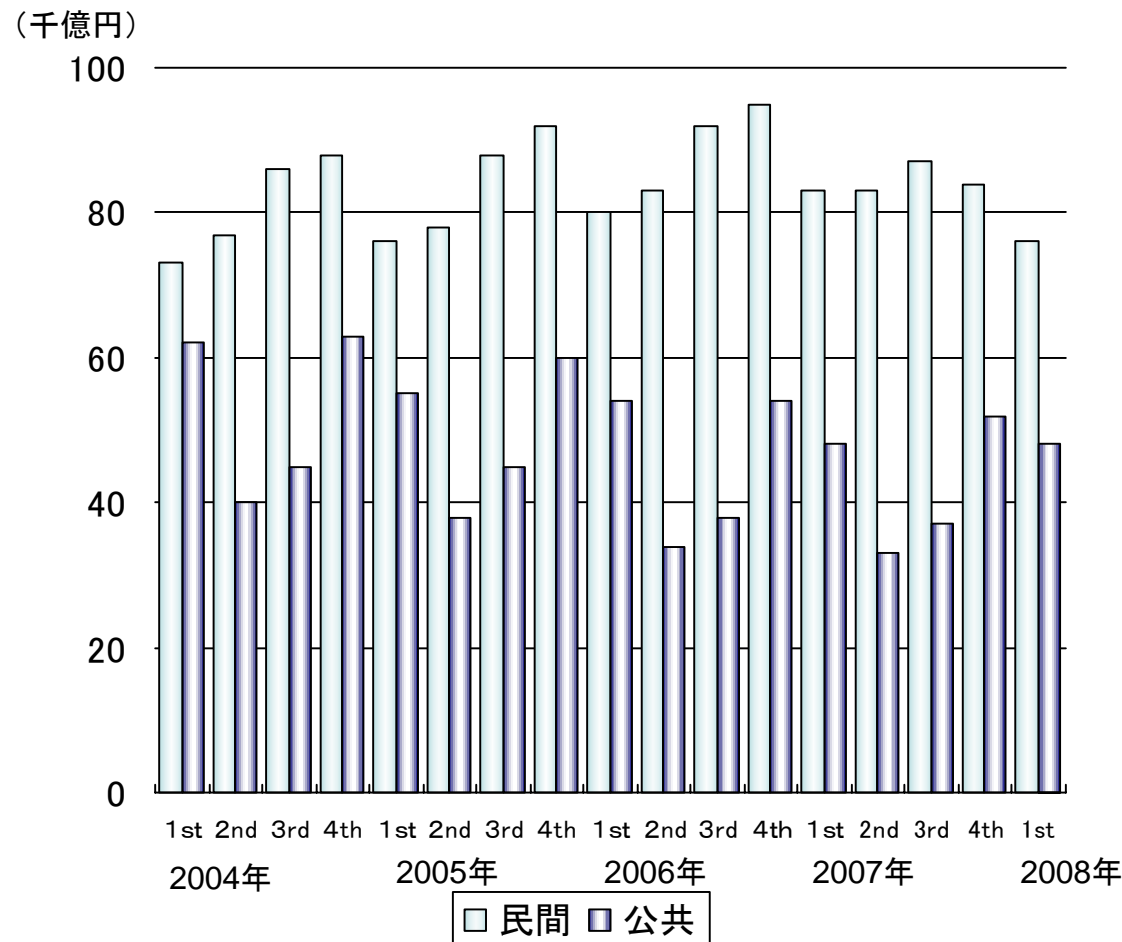
- 出荷量 8万8千 $m^3$ (前年同期比99%)
- 販売単価の引上げ(前年同期比105%)
- 新工場の建設計画を推進する。
  - 兵庫県姫路市飾磨区中島埠頭に建設(敷地面積約76,000 $m^2$  建設面積約8,000 $m^2$ )
  - 2008年6月現在 建物及び機械装置は、ほぼ設置完了、下旬から試験運転開始
  - 設備取得金額 約25億5千万円 2008年8月稼動開始予定

### ★新工場のメリット★

- 水深の深い港湾の利用により、「グリーンホープ」の積載量をフル活用できる。トータル運搬量20%アップ。
- 新設備の導入で、原木1 $m^3$ 当たりの製造コストを現状より25%削減できる。

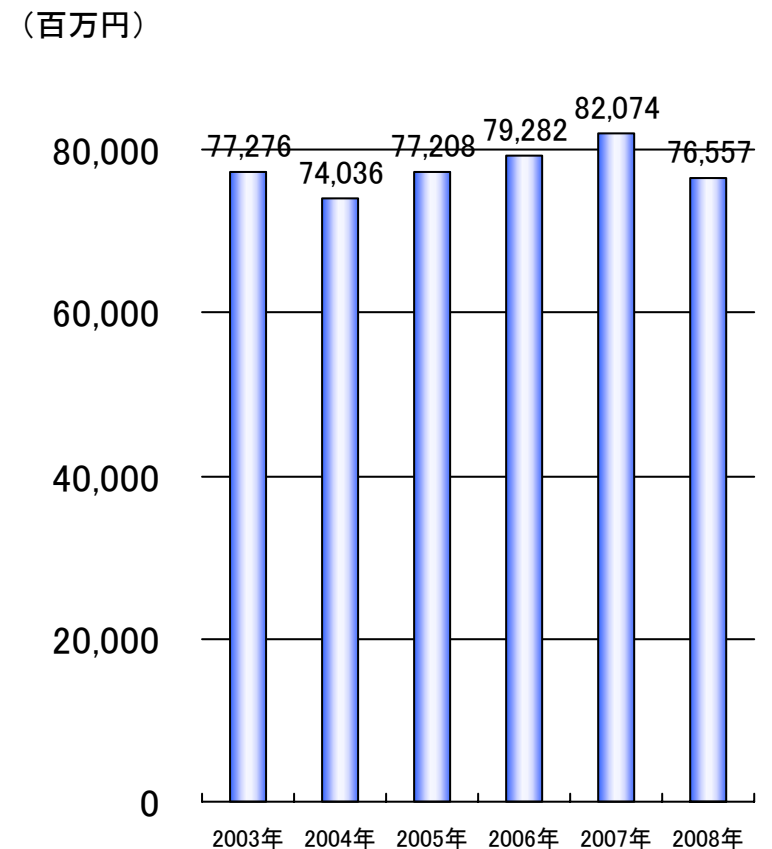
● ハウス事業の市場環境

■ 建設総合統計(出来高ベース) 国土交通省



● 民間工事、公共工事共に減少

■ プレハブ業界上場4社の売上高推移



(注) 上場しているプレハブ大手4社の決算短信をもとに、売上高の合計を掲載しております。

● プレハブ大手4社も、1社を除き減収

●ハウス事業：取組みの進捗状況

■民間の受注に注力

- 旺盛な中・大型工場・倉庫物件をシステム建築にて対応  
中部地区で大型物件を完工
- 一般建築の特販担当者の増員 個人住宅を受注

■関東地域の体制強化

- 東京営業所の人員を増強 予算達成・利益率改善

■営業力の強化、技術者の増強

- 全営業社員研修を開催
- 営業活動量の増加、新規商談獲得数の増加を徹底指導
- 建築士・管理技術者の増員 2名増員、構造計算担当を増員。

■製品構成の見直し・改良

- 製品構成の見直しと改良を行い、オービスハウスのブランド力を高める。



システム建築施工例



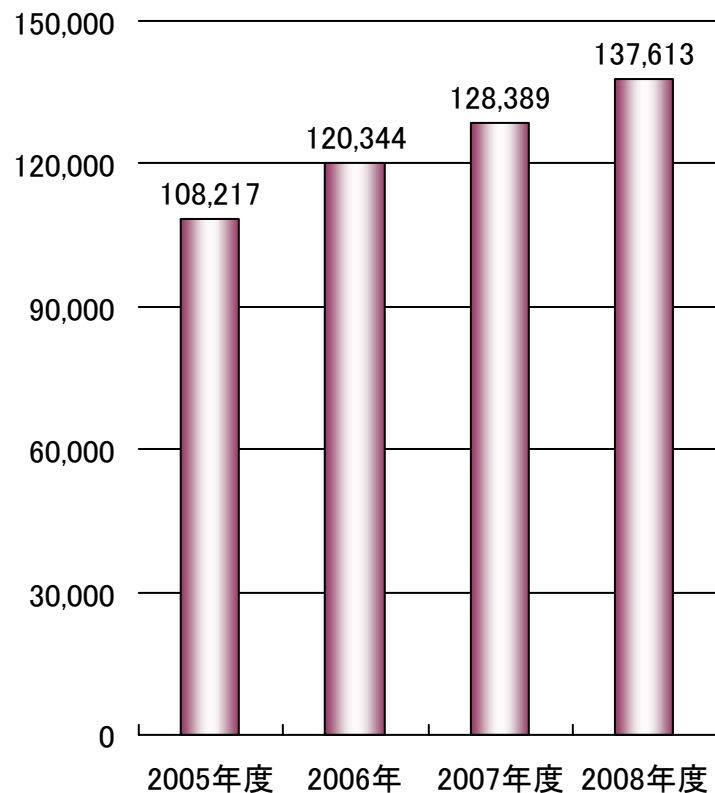
ユニットハウス施工例



● アミューズメント事業の市場環境

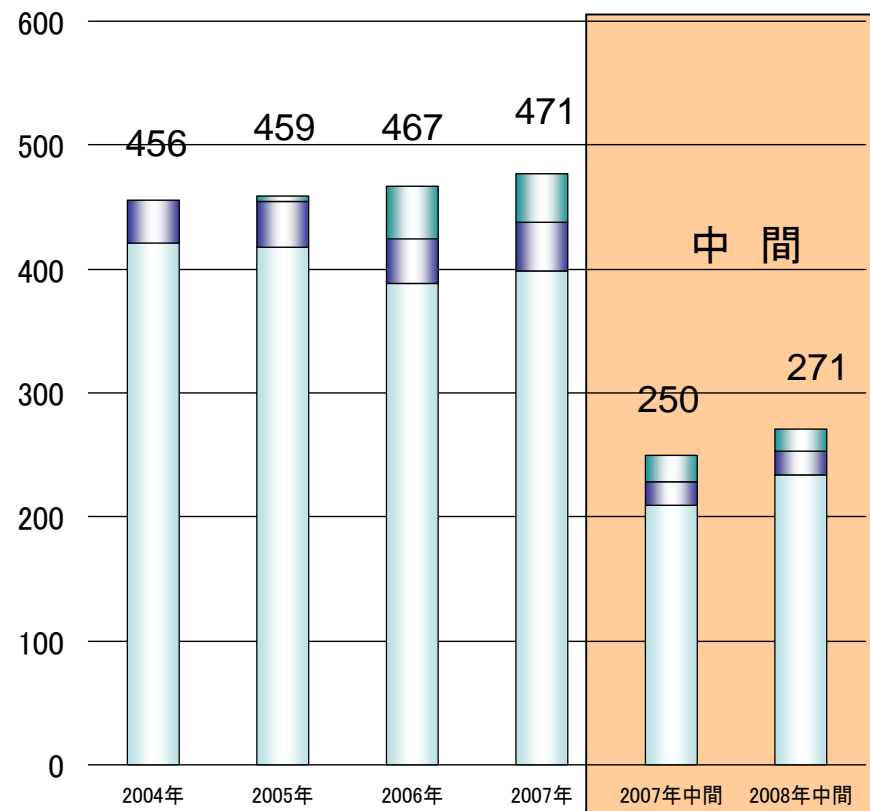
■ カラオケ上場5社売上高推移

(百万円) 上場しているカラオケ5社の決算短信をもとに、カラオケ事業の売上高の合計を掲載しております。



■ 当社のアミューズメント事業の利用者数

(千人)



● カラオケ大手チェーン店は順調に売上高を伸ばす。

● 当社は、新店舗、改装店舗等の効果で利用者数が増加

□ カラオケ □ ゴルフ □ 岩盤浴

## ● アミューズメント事業：取組みの進捗状況

### ■ 店長を中心に、社員教育を強化

- 店舗の柱となる店長の教育を強化。 **コスト意識の向上、店舗業績の改善**

### ■ 新店舗の出店

- 2007年12月 福山店 新規出店。  
**2008年 8月出店予定は、翌期に延期**



PART5

# 2008年10月期の業績予想

## 1. 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	2007年	百分比	2008年	百分比	前期比
売上高	10,416	100.0%	11,011	100.0%	105.7%
売上総利益	1,817	17.4%	1,812	16.5%	99.7%
販売費及び一般管理費	1,233	11.8%	1,336	12.1%	108.3%
営業利益	583	5.6%	475	4.3%	81.5%
経常利益	527	5.1%	343	3.1%	65.0%
当期純利益	142	1.4%	198	1.8%	139.1%
1株当たり当期純利益	82.48円	—	114.69円	—	—

- 通期予想は、新工場の操業費用や為替の動向、梱包マーケット、建設業界の動向等不確定な要素が多いため、据え置き。

#### 4. 予想配当

期末配当		配当性向
2007年 10月期	普通配当 <b>30円</b>	36.4%
2008年 10月期	普通配当 <b>30円</b>	26.2%

普通配当30円を継続

## ●本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

●IR担当窓口



ORVIS

株式会社 オービス

企画室 中奥淳史

Tel. 084-934-2621 (代)

Fax. 084-934-2624

E-mail: [ir@orvis.co.jp](mailto:ir@orvis.co.jp)

URL: <http://www.orvis.co.jp>